

1. カブトガニ幼生生息調査

(1) 長浜・南潟における調査

① 調査概要

● 長浜の実施概要

- ・実施日：2024年9月17日(火) 10:30～16:00 【大潮、最干潮14:09、潮位30cm】
- ・主 催：カブトガニWG
- ・参加者：24人

※台風10号接近に伴い8月31日の調査・観察会の実施を見送り、後日関係者のみで実施

● 南潟の実施概要

- ・実施日：2024年9月18日(水) 11:30～16:30 【大潮、最干潮14:49、潮位27cm】
- ・主 催：カブトガニWG
- ・参加者：14人

● 調査方法

- ・設定した調査ライン上を1～3人で歩き、1ライン当たり2m幅で発見したカブトガニ幼生について、①個体数、②前体幅、③発見地点を記録(ベルトトランセクト法)。
- ・長浜では、16m間隔で20ライン(1,020m)の範囲を調査。南潟では、60m間隔で6ライン(1,000m)の範囲を調査。



1. カブトガニ幼生生息調査

② 調査結果

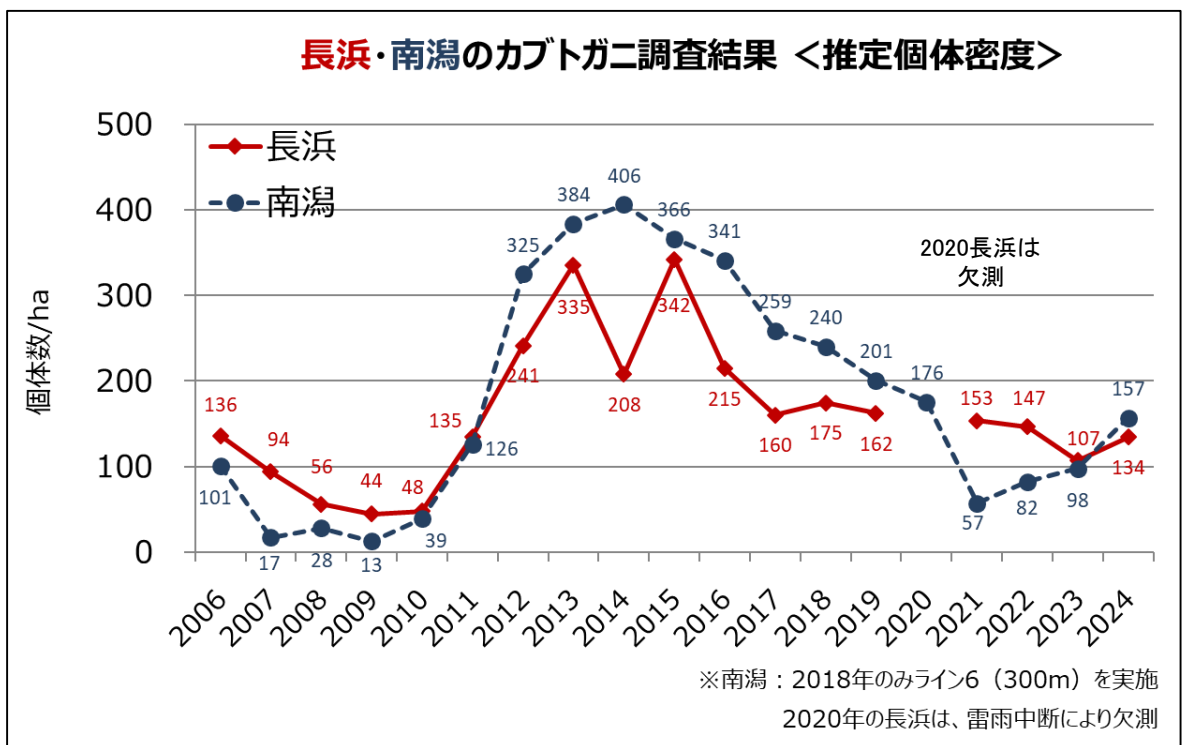
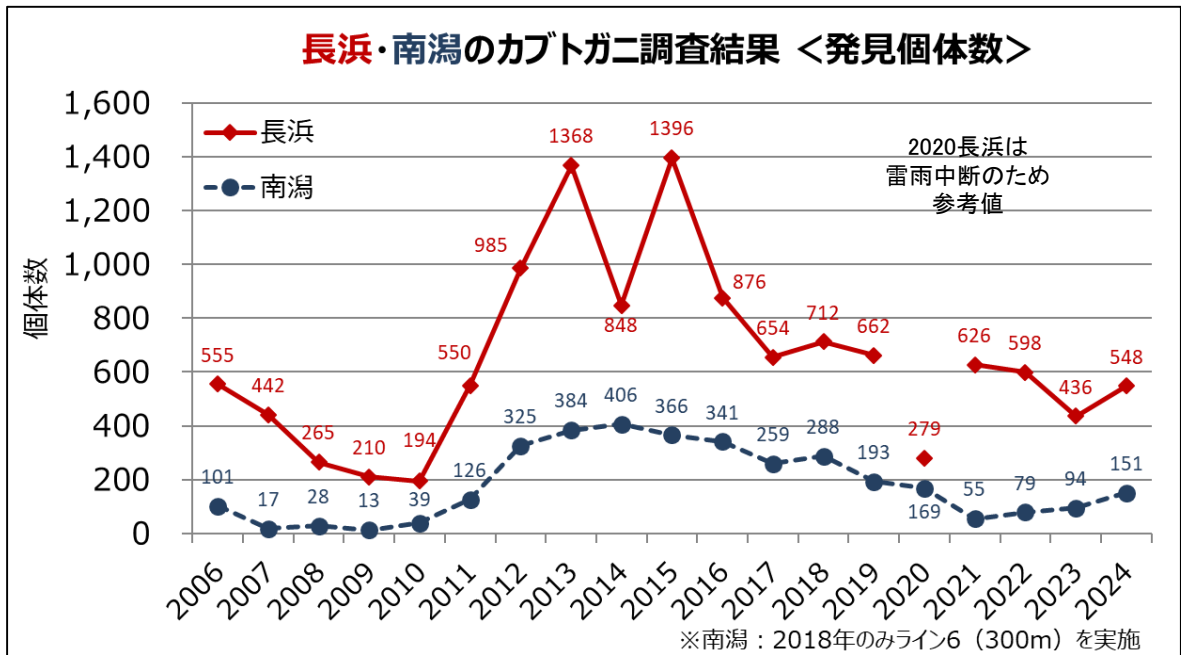
● 発見個体数・推定個体密度

長浜では、10ラインで274個体、南潟では、5ラインで151個体を確認した。

推定個体密度は、長浜で 134個体/ha、南潟で157個体/haであった。

長浜は、通常の半分のレーンのみの調査となったことから、発見個体数を2倍している。

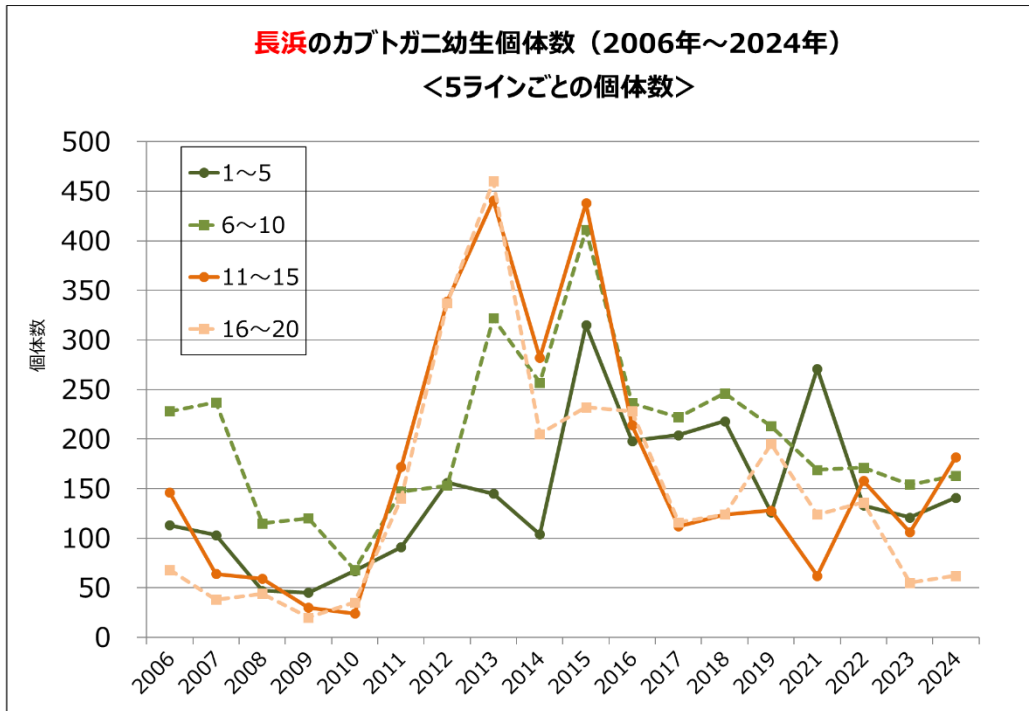
南潟は、昨年より57個体増加し、2021年度から増加傾向が見られる。



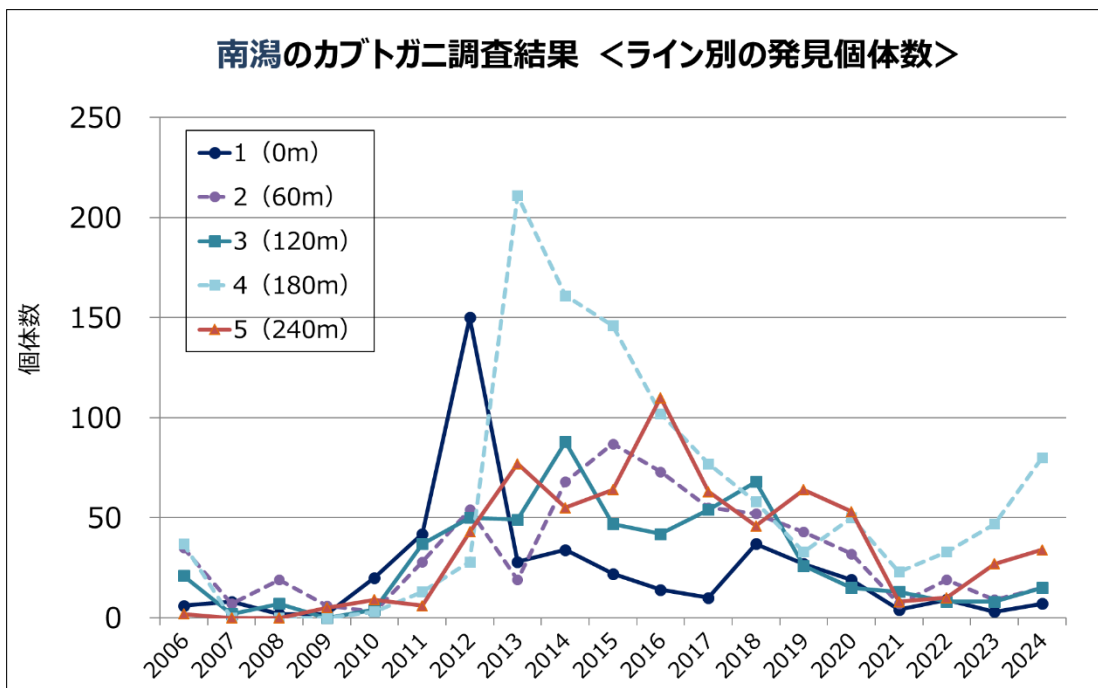
1. カブトガニ幼生生息調査

● ライン別の発見個体数

長浜では、昨年度に比べ、全体的に増加傾向。特に11～15ラインで増加。
南潟では、南側（沖側）が増加傾向、北側（岸側）は少なく、ほぼ横ばい。
2020年度の長浜は、雷雨による中断のため、欠測。



2020は欠測



2.1 榎野川河口干潟再生活動2024（春）

(1) 開催概要

- ・開催日：2024年4月27日(土) 13:15～16:20 【中潮、最干16:29、潮位19cm】
- ・場 所：旧県漁協吉佐支店山口きらら支所、南潟
- ・主 催：榎野川流域連携促進協議会、山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所、
榎野川河口域・干潟自然再生協議会
- ・協 力：あいおいニッセイ同和損害保険(株)山口支店、(株)伊藤園山口支店、
水産大学校、山口大学

(2) 参加者

- ・186人(スタッフ含む)
- ・学生：水産大学校、山口大学
- ・企業等：協賛・協力企業、ふしの干潟ファンクラブ 等



干潟作業の様子



あいおいニッセイ同和損保(株)山口支店



水産大学校、山口大学



集合写真

2.1 榎野川河口干潟再生活動2024（春）

① 榎野川の恵みを味わう試食会

- ・榎野川流域の山菜の天ぷら …榎野川流域連携促進協議会
- ・あゆの塩焼きの販売 …榎野川漁業協同組合



② 募金活動

- ・試食会会場において、募金活動及びふしの干潟いきものせんべい（寄付付き商品）の販売を実施。合計13,160円の寄付金を収受した。
- ・榎野川漁業協同組合より、販売したあゆ飯等の売上の一部から寄付(3万円)を贈呈。



③ アサリ再生活動(被覆網撤去等)

- ・海藻の付着した被覆網を撤去した。
- ・はがした被覆網の下を掘り、アサリの生息状況を調査した。
(殻長3cm以上：2.2kg、3cm未満：1.9kg)
- ・アサリの収量が少なかったことから、参加者への配布は見送った。



④ 網袋による稚貝育成活動

- ・事前に行った稚貝調査で稚貝の多かったポイントの表土を網袋に入れ、干潟に設置した。（網袋の中で育ったアサリは、一部、7月に被覆網下へ放流した。）



2.2 榎野川河口干潟再生活動2024（夏）

(1) 開催概要

- ・開催日：2024年7月20日(土) 13:00～15:30 【中潮、最干13:56、潮位37cm】
- ・場 所：旧県漁協吉佐支店山口きらら支所、南潟
- ・主 催：榎野川河口域・干潟自然再生協議会 干潟・水産資源再生WG、持続可能な里海づくりWG

(2) 参加者

- ・49人(スタッフ含む)



活動場所



作業の様子



集合写真（1）



集合写真（2）

2.2 榎野川河口干潟再生活動2024（夏）

① アサリ稚貝保全用網袋の開封

- ・アサリ稚貝保全用網袋を開封し、大きさ別に選別。
- ・網袋26袋を開封し、合計2.525kg（推定2,500～3,000匹）のアサリを回収した。



② アサリ稚貝の放流

- ・回収したアサリを、新たに設置した被覆網の下に放流した。



③ ミニ生きもの観察会

- ・子どもを対象としたミニいきもの観察会を実施。
- ・スタッフ解説のもと、参加者がカブトガニやカニ、貝類等に触れ合った。



④ その他（熱中症対策）

- ・直射日光を避けるため、作業グループごとにテントを設置して実施。
- ・飲料やタブレットを配布し、水分補給の呼びかけを徹底した。



3. アマモの再生活動およびアマモ見学会の開催（ブルーカーボンWG）

当初予定していたアマモ見学会（高温のため中止）

熱中症警戒アラートが発出されており高温により高齢者の熱中症リスクが高いと判断

第1回山口湾アマモ観察会

2024年7月7日(日) 14:00~17:00

【主催】樺野川河口域・干潟自然再生協議会 ブルーカーボンWG
【協力】NPO法人野鳥やまぐち・ふしの干潟いきもの募金・中電技術コンサルタント（カーボン・オフセット）

ポイント

- ・ 地引網を使って豊かなアマモ場の生物を観察します
- ・ 実際に自然のアマモに触れることができます
- ・ ドローンで空中からアマモ場を一望することができます

カーボン・オフセット イベント

当観察会は、参加者が現地まで乗用車等で移動する際のCO₂排出量を、大島干潟(尾南市)のCO₂吸収量(Jブルー・クレジット)で相殺(オフセット)した、環境に優しいイベントです。

- 内 容 ○アマモ観察会
(解説：山口大子 石谷添講師)
○地引網によるアマモ場生物採取・観察
(解説：水産大学校 南條楠士講師)
○ドローンによるアマモ場空中観察
- 集合場所 山口市美濃ヶ浜海浜広場（右図）
14:00集合、徒歩で見学場所に移動
17:00現地解散予定
- 募集定員 20名程度（先着順）
- 対 象 小学生以上どなたでも
（小・中学生は保護者同伴）
- 参加費 無料
- 持参物 救命胴衣が必要です
レンタルを希望する場合は実費（1000円）
を申し受けます
- 申し込み 6月24日(月)までに申込書を
下記にメールでご提出ください。
樺野川河口域・干潟自然再生協議会事務局
（山口県環境生活部自然保護課）
〒753-8501 山口市滝町1-1
Mail : a15600@pref.yamaguchi.lg.jp
- 雨天の場合 小雨では実行しますが大雨が強い場合中止します



活動は
Facebookで



3. アマモの再生活動およびアマモ見学会の開催（ブルーカーボンWG）

令和6年度アマモ見学会

主催 榎野川河口域・干潟自然再生協議会 ブルーカーボンWG

日時 11月4日（月・祝）

協力 山口県漁協吉佐支店山口支所

参加者 事務局6名、一般参加者4名

〇スケジュール

12:00 漁協集合～事務局打合せ～受付

13:00～13:15 レクチャー

13:15～ 出航（2隻）

4箇所見学（水中カメラ）

岩屋、南潟、きららドーム前、秋穂湾

15:00 帰港 ～事務局レビュー（漁協）

・アマモ場の豊かさとブルーカーボンを市民に身近に感じてもらうことを目的として実施。

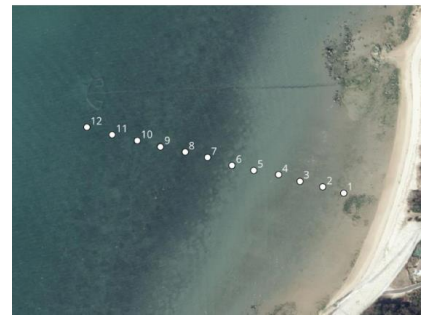
・次回は花枝採取と合わせて見学会を5月に実施することにした。



事前説明状況（実験室で培養した実生を見せている）



水中撮影状況



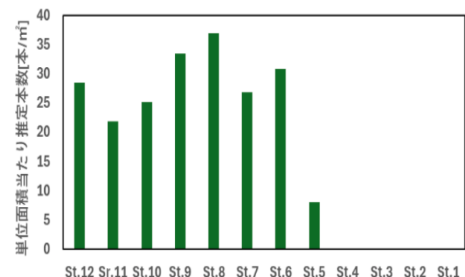
水中撮影地点（長浜）



アマモ場（長浜）



コアマモ場（阿知須）



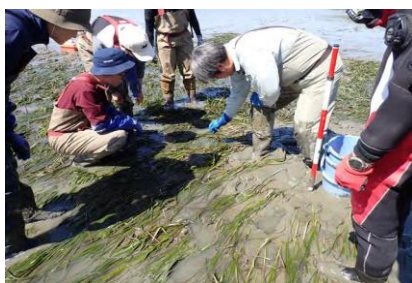
アマモ密度推定結果（長浜）

3. アマモの再生活動およびアマモ見学会の開催（ブルーカーボンWG）

令和6年度アマモ場再生活動（2024年5月9日）

岩屋地先で約300本の花穂を採取，群落の前面に設置した

- ・ 実生が観察されるなど再生効果があることが確認された
- ・ 次回は見学会と合わせて市民参加型の花枝採取・現場設置を5月に実施することにした。



活動結果 群落前面の活動場所に実生が発生していた（2025年1月16日）